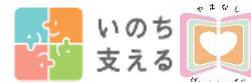


自殺の現状



資料 1

1 住所地ベースの自殺者数等

◇人口動態統計(厚生労働省) 住所地を基に死亡時点で計上

- ・R7年の本県の自殺者数(概数)は、**119人**となり、昨年から**12人**減少。
- ・自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、**15.6**となり前年から**1.4**ポイント減少、全国順位はワースト**17**位から**24**位となった。

図1: 住所地ベースの自殺者と自殺死亡率

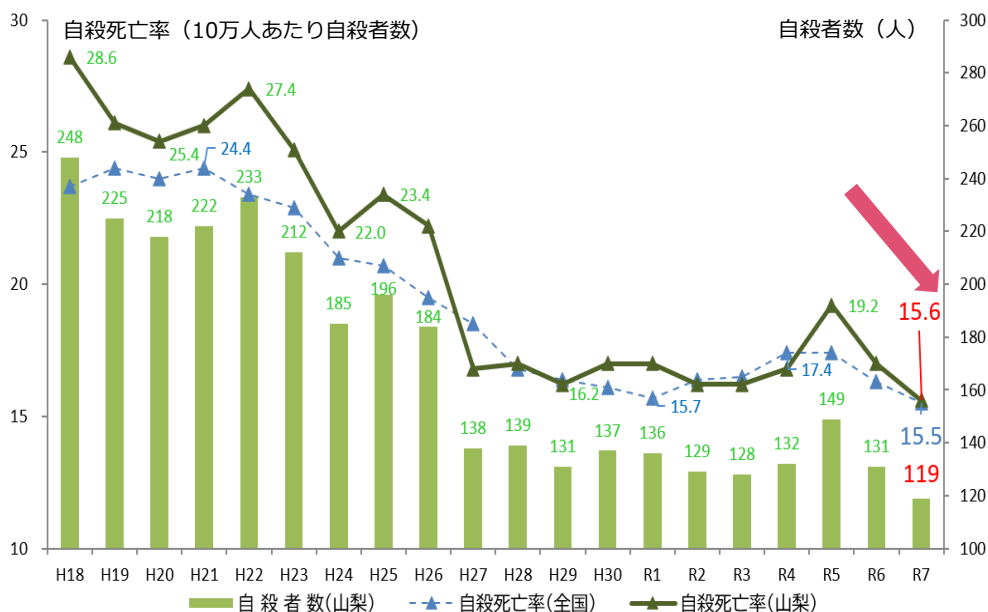


表2: 過去10年間の自殺者数等一覧表(住所地ベース)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
自殺者数(山梨)	139	131	137	136	129	128	132	149	131	119
自殺死亡率(山梨)	17.0	16.2	17.0	17.0	16.2	16.2	16.8	19.2	17.0	15.6
自殺死亡率(全国)	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5	17.4	17.4	16.3	15.5
順位	23位	31位	14位	15位	27位	27位	29位	7位	17位	24位

出典: 人口動態統計(厚生労働省) 令和7年は概数

表3: (参考) 過去10年間の自殺者数等一覧表(発見地ベース)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
自殺者数(山梨)	192	182	204	182	182	192	199	215	174	171
自殺死亡率(山梨)	23.1	22.1	25.0	22.4	22.5	23.9	24.8	27.0	22.0	21.6
自殺死亡率(全国)	17.3	16.8	16.5	16.0	16.7	16.7	17.5	17.6	16.4	15.6
順位	5位	3位	1位	3位	2位	2位	1位	1位	2位	1位

出典: 自殺統計(警察庁)

【男女別・年齢階級別】

- ・総数で12名減少。20代、30代、50代では増加。
- ・全国では総数で1,090名減少。20歳未満だけ増加。
- ・本県の20歳未満は2名減少。毎年一定数の自殺者がいる状況。

表4: 年齢階級別(総数)

年齢	山梨県						全国					
	R3	R4	R5	R6	R7	R3~R7平均	R3	R4	R5	R6	R7	R7-R6
20歳未満	5	3	5	7	5	5.0	762	783	773	761	795	34
20~29歳	22	12	15	9	13	14.2	2,526	2,397	2,405	2,346	2,279	△ 67
30~39歳	11	14	15	14	19	14.6	2,477	2,465	2,505	2,333	2,194	△ 139
40~49歳	18	23	27	22	14	20.8	3,472	3,574	3,505	3,128	2,856	△ 272
50~59歳	16	20	30	18	29	22.6	3,497	3,970	4,068	3,703	3,641	△ 62
60~69歳	18	24	23	20	14	19.8	2,491	2,695	2,667	2,492	2,328	△ 164
70~79歳	23	20	17	26	14	20.0	2,883	2,909	2,776	2,573	2,262	△ 311
80歳以上	15	16	17	15	11	14.8	2,146	2,419	2,303	2,247	2,120	△ 127
不詳	0	0	0	0	0	0.0	37	40	35	25	43	18
計	128	132	149	131	119	131.8	20,291	21,252	21,037	19,608	18,518	△ 1,090

表5: 男女別・年齢階級別(男性)

年齢	山梨県						全国					
	R3	R4	R5	R6	R7	R3~R7平均	R3	R4	R5	R6	R7	R7-R6
20歳未満	4	2	4	1	3	2.8	440	447	406	355	394	39
20~29歳	15	9	10	7	11	10.4	1,649	1,617	1,541	1,465	1,496	31
30~39歳	9	11	11	11	9	10.2	1,753	1,720	1,833	1,667	1,545	△ 122
40~49歳	11	13	21	16	11	14.4	2,450	2,557	2,594	2,306	2,114	△ 192
50~59歳	11	14	23	15	22	17.0	2,416	2,776	2,858	2,620	2,622	2
60~69歳	10	14	20	18	11	14.6	1,652	1,844	1,846	1,750	1,650	△ 100
70~79歳	16	13	9	19	11	13.6	1,820	1,847	1,835	1,738	1,551	△ 187
80歳以上	13	12	10	7	9	10.2	1,295	1,518	1,447	1,431	1,366	△ 65
不詳	0	0	0	0	0	0.0	33	36	28	22	36	14
計	89	88	108	94	87	93.2	13,508	14,362	14,388	13,354	12,774	△ 580

表6: 男女別・年齢階級別(女性)

年齢	山梨県						全国					
	R3	R4	R5	R6	R7	R3~R7平均	R3	R4	R5	R6	R7	R7-R6
20歳未満	1	1	1	6	2	2.2	322	336	367	406	401	△ 5
20~29歳	7	3	5	2	2	3.8	877	780	864	881	783	△ 98
30~39歳	2	3	4	3	10	4.4	724	745	672	666	649	△ 17
40~49歳	7	10	6	6	3	6.4	1,022	1,017	911	822	742	△ 80
50~59歳	5	6	7	3	7	5.6	1,081	1,194	1,210	1,083	1,019	△ 64
60~69歳	8	10	3	2	3	5.2	839	851	821	742	678	△ 64
70~79歳	7	7	8	7	3	6.4	1,063	1,062	941	835	711	△ 124
80歳以上	2	4	7	8	2	4.6	851	901	856	816	754	△ 62
不詳	0	0	0	0	0	0.0	4	4	7	3	7	4
計	39	44	41	37	32	38.6	6,783	6,890	6,649	6,254	5,744	△ 510

出典: 人口動態統計(厚生労働省)

第3期山梨県自殺対策推進計画及び関連事業 取組状況一覧表

資料2

No	山 梨 県 自 殺 対 策 推 進 計 画			R 6項目評価	R 7項目評価				R 7 施策評価				R7実施状況	項 目 評 価		施 策 評 価	
	柱	施策	項目		a	b	c	d	A	B	C	D		a	b	c	d
評価				a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D	○項目評価：全117項目中、a評価10項目（8.54％）、b評価106項目（90.60％）、c評価1項目（0.86％）、d評価0項目	
件数				9	96	1	0	10	106	1	0	1	16	0	0	○施策評価：全17項目中、A評価1項目（5.89％）、B評価16項目（94.11％）、C評価0項目、D評価0項目	
1	（ 1 ） 普 及 啓 発 活 動 の 推 進	①県民理 解の増進	ア 山梨いのちの日（3月1日）における広報啓発	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D	【イ 自殺予防週間・自殺対策強化月間における広報啓発】＜福祉保健部＞ ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間に合わせ、SNS、ラジオ、広報誌等を活用し、相談窓口等を周知した。	
2			イ 自殺予防週間・自殺対策強化月間における広報啓発	a	b	c	d	a	b	c	d					【カ 児童生徒に対する普及啓発】＜教育委員会＞ ・全ての学校において学習指導要領に基づく「心の健康等」をテーマにした保健体育の授業を実施し、児童生徒に対し て一定の基礎・基本的な知識の定着を図った。	
3			ウ 社会全体の認識の醸成	a	b	c	d	a	b	c	d					【キ 教職員に対する周知】＜教育委員会＞ ・小中学校では、生徒指導主事（主任）研修会において、高校では、生徒指導主事研修会、教育相談研修会において、 教職員を対象に自殺防止の研修会等を実施した。また、SC、SSWに対しても自殺防止について周知した。	
4			エ 自殺対策に関する理解者・賛助者の拡大	a	b	c	d	a	b	c	d					【ク 毒物・劇物の取扱に対する普及啓発】＜福祉保健部＞ ・登録・届出事業者等への監視・指導を実施した。 ・毒物劇物取扱責任者講習会において、立入検査時の指導内容や事故事例を紹介し、毒物劇物の適正な取扱い及び管理 を周知した。	
5			オ 相談窓口等の周知	a	b	c	d	a	b	c	d					【シ 人権問題等に関する正しい知識の普及】＜教育委員会＞ ・児童生徒に対しては、特別活動、総合的な学習の時間、道徳科、社会科など複数の教科・領域を通して、人権を尊重 する内容を扱った。また、教職員に対しては、各種研修会において人権尊重に関する内容を取り上げた。 ・さらに性別表現の多様性を認める制服の導入や、アイマスク体験等の体験的な活動を実施した。	
6			カ 児童生徒に対する普及啓発	a	b	c	d	a	b	c	d					【ソ 薬物乱用防止対策の強化】＜福祉保健部＞ ・薬物乱用防止に関する県政出張講座を8回実施するなど、薬物に関する正しい知識の普及啓発を図った。	
7			キ 教職員に対する周知	a	b	c	d	a	b	c	d					【ウ 子どもに関する調査・分析】＜教育委員会＞ ・年間3回の「諸課題に関する調査」を行い、自校の実態を把握するとともに、課題への対応を周知した。	
8			ク 事業所等に対する普及啓発	a	b	c	d	a	b	c	d					【ア 世界保健機関（WHO）が作成した手引きの周知】＜福祉保健部＞ ・世界保健機関（WHO）が作成した「自殺対策を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識」を、 自殺予防週間等のプレスリリース時に周知した。	
9			ケ 高齢者層等への情報の提供	a	b	c	d	a	b	c	d					【エ 産業カウンセラー等における支援】＜総合県民支援局＞ ・（一社）山梨県労働者福祉協会が実施する、産業カウンセラーや弁護士等に相談できる勤労者生活応援事業に助成 し、労働者の悩みの解消を支援した。	
10			コ 毒物・劇物の取扱に対する普及啓発	a	b	c	d	a	b	c	d						
11			サ 違法・有害情報対策の強化	a	b	c	d	a	b	c	d						
12			シ 人権問題等に関する正しい知識の普及	a	b	c	d	a	b	c	d						
13			ス うつ病に関する正しい知識の普及啓発	a	b	c	d	a	b	c	d						
14			セ 依存症対策の強化	a	b	c	d	a	b	c	d						
15			ソ 薬物乱用防止対策の強化	a	b	c	d	a	b	c	d						
16			タ 市町村に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d						
17		②調査研 究の推進	ア 実態の解明	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D		
18			イ 調査研究成果の活用	a	b	c	d	a	b	c	d						
19			ウ 子どもに関する調査・分析	a	b	c	d	a	b	c	d						
20		③情報発 信のあり 方の周知	ア 世界保健機関（WHO）が作成した手引きの周知	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D		
21	①自殺対 策関係団 体等の活 動の支援		ア 民間団体との連携・協働	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D		
22			イ 民間団体に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d						
23			ウ 市町村に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d						
24			エ 産業カウンセラー等における支援	a	b	c	d	a	b	c	d						
25		オ 生活困窮者に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d							

第3期山梨県自殺対策推進計画及び関連事業 取組状況一覧表

資料2

No	山 梨 県 自 殺 対 策 推 進 計 画			R 6項目評価				R 7項目評価				R 7 施策評価				R7実施状況	項 目 評 価			
	柱	施策	項目														項 目 評 価	施 策 評 価		
26	（ 2 ） 人 材 の 確 保 ・ 育	②人材の 確保	ア ゲートキーパーの養成	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D	【ア ゲートキーパーの養成】＜福祉保健部＞ ・市町村職員を対象とした指導者養成研修を実施し、市町村におけるゲートキーパーの養成を支援した（市町村等におけるゲートキーパー養成数1,506人）。 【オ 教育現場等における人材の育成】＜教育委員会＞ ・中堅教諭等資質向上研修や管理職研修等において、自殺や自殺関連事象への理解を深めるとともに、校内研修などで十分に環流するよう周知を図った。	項 目 評 価	a：意図した成果を十分に上げている(120%以上) b：意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c：意図した成果は十分ではない(40%以上80%未満) d：意図した成果が上がりなかった(40%未満)	施 策 評 価	A：項目評価で a が30%以上、かつ c,d 無し B：項目評価で b 以上が60%以上、かつ d 無し C：項目評価で b 以上が60%以上だが d 有り D：項目評価で b 以上が60%未満
27			イ 地域保健・福祉関係者等に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d									
28			ウ 薬物相談業務を担う職員の育成	a	b	c	d	a	b	c	d									
29			エ がんに関するピア・サポーターの育成	a	b	c	d	a	b	c	d									
30			オ 教育現場等における人材の育成	a	b	c	d	a	b	c	d									
31			カ 若年層の参画	a	b	c	d	a	b	c	d									
32			キ 産前産後における支援人材の育成	a	b	c	d	a	b	c	d									
33			ク 介護等高齢者に関する課題への対応	a	b	c	d	a	b	c	d									
34	（ 3 ） 心 の 健 康 づ く り の 推 進	①学校に おける心 の健康づ くり	ア スクールカウンセラーの取組	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D	【ア スクールカウンセラーの取組】＜教育委員会＞ ・臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者をスクールカウンセラーとして任用し、小学校165校（全校）、中学校79校（全校）、高等学校12校の計256校へ配置するとともに、要請訪問による支援及び長期不登校児童生徒への対応を行った。 【イ スクールソーシャルワーカーの取組】＜教育委員会＞ ・教育や福祉に関する専門的な知識・経験を有する者をスクールソーシャルワーカーとして任用し、各教育事務所に小中学校担当13名、総合教育センターに高校担当2名、計15名を配置した。 【エ 学校におけるメンタルヘルス】＜教育委員会＞ ・いじめ、不登校、発達課題等に関する様々な内容についての面接相談を実施した（面接相談件数882件）。 ・24時間体制で電話相談を実施した（電話相談件数1,830件）。 ・発達課題に関する電話相談を実施した（相談件数1,220件）。 【オ SOSの出し方に関する教育】＜教育委員会＞ ・児童生徒、学校関係者、保護者がSOSの出し方・受け止め方について理解を深める機会を提供した。 【キ SOSの受け止め方に関する普及啓発】＜教育委員会＞ ・小中高校の生徒指導担当者、教育相談担当者やスクールカウンセラーを対象とした研究会等を開催し、自殺や自殺関連事象への理解を図るための研修を実施するとともに、研究校における事例等を共有し、児童生徒のSOSを受け止めることができる人材の育成を行った。 【ク SNSの適正利用などに関する教育体制の充実】＜教育委員会＞ ・教職員や保護者を対象とした研修やセミナーにおいて、情報モラル教育の必要性を周知した。 ・各学校では特別活動や各教科における諸活動を通して、ICT端末の安全な活用に係る指導を行い、情報モラル教育を実施した。 【ケ 研修の実施】＜教育委員会＞ ・生徒指導主事を集めた研修会や連絡会議等において、自殺予防教育（SOSの出し方に関する教育）を実施した。	項 目 評 価	a：意図した成果を十分に上げている(120%以上) b：意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c：意図した成果は十分ではない(40%以上80%未満) d：意図した成果が上がりなかった(40%未満)	施 策 評 価	A：項目評価で a が30%以上、かつ c,d 無し B：項目評価で b 以上が60%以上、かつ d 無し C：項目評価で b 以上が60%以上だが d 有り D：項目評価で b 以上が60%未満
35			イ スクールソーシャルワーカーの取組	a	b	c	d	a	b	c	d									
36			ウ 関係機関等の連携	a	b	c	d	a	b	c	d									
37			エ 学校におけるメンタルヘルス	a	b	c	d	a	b	c	d									
38			オ SOSの出し方に関する教育	a	b	c	d	a	b	c	d									
39			カ しなやかな心の育成	a	b	c	d	a	b	c	d									
40			キ SOSの受け止め方に関する普及啓発	a	b	c	d	a	b	c	d									
41			ク SNSの適正利用などに関する教育体制の充実	a	b	c	d	a	b	c	d									
42			ケ 研修の実施	a	b	c	d	a	b	c	d									

第3期山梨県自殺対策推進計画及び関連事業 取組状況一覧表

資料2

No	山 梨 県 自 殺 対 策 推 進 計 画			R 6項目評価				R 7項目評価				R 7 施策評価				R7実施状況	項 目 評 価	
	柱	施策	項目														a：意図した成果を十分に上げている(120%以上)	b：意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)
43	(3) 心 の 健 康 づ く り の 推 進	②職場における心の健康づくり	ア 働き方改革に向けた取組の支援	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D	【イ メンタルヘルス対策の促進】＜産業政策部＞ ・商工会が実施する経営指導員向け研修において、県が主導してゲートキーパー研修を実施した。 【エ 女性が活躍できる環境づくりの推進】＜総合県民支援局＞ ・県主催合同就職フェアでのパネル展示に加え、note掲載により制度及び認定企業のPRを実施した。また、アドバイザーが県内事業所を延べ60回訪問して認定申請支援を実施するとともに、認定企業向けネットワーク会議を1回開催した。 ・女性管理職候補者のマインドセット及びスキルアップを目指す「やまなし女性Miraiクエスト」を実施した（参加者14名）。		
44			イ メンタルヘルス対策の促進	a	b	c	d	a	b	c	d							
45			ウ 従業員向けの健康増進	a	b	c	d	a	b	c	d							
46			エ 女性が活躍できる環境づくりの推進	a	b	c	d	a	b	c	d							
47		③地域における健康づくり	ア 地域における健康づくり・生きがいづくり	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D			
48			イ 地域の居場所づくりの推進	a	b	c	d	a	b	c	d							
49			ウ 高齢者の健康づくり・生きがいづくり	a	b	c	d	a	b	c	d							
50			エ 多重債務者に対する心の健康づくり	a	b	c	d	a	b	c	d							
51			オ ゆるやかなつながりを形成できる社会づくり	a	b	c	d	a	b	c	d							
52			カ 良質で安定的な雇用づくり	a	b	c	d	a	b	c	d							
53			キ 早い段階からのキャリア教育・学び直しの機会提供	a	b	c	d	a	b	c	d							

第3期山梨県自殺対策推進計画及び関連事業 取組状況一覧表

資料2

No	山 梨 県 自 殺 対 策 推 進 計 画			R 6項目評価				R 7項目評価				R 7 施策評価				R7実施状況	項 目 評 価		施 策 評 価	
	柱	施策	項目														項 目 評 価	施 策 評 価		
54	（ 4 ） 相 談 支 援 の 充 実	①相談機能の強化	ア 相談窓口の周知（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D	【イ 自殺防止に関する相談】＜福祉保健部＞ ・ ころの健康相談統一ダイヤルを365日24時間体制で運営し、自殺リスクを抱える者への相談対応を実施した。				
55			イ 自殺防止に関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d					【ク 中小企業金融相談員の配置】＜産業政策部＞ ・ 中小企業金融相談員が、融資制度の案内や様々な金融に関する相談に対応した（延べ423件）。 ・ 令和7年4月から、米国関税措置に伴う資金繰り等の相談に対応する金融相談窓口を設置した。				
56			ウ 精神保健福祉に関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d					【サ 大規模災害時における心のケア】＜福祉保健部＞ ・ DPAT研修（1回）及びDPAT運営委員会（1回）を開催し、災害時の心のケア体制の強化を図った。				
57			エ 生活に関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d					【ス 性犯罪・性暴力被害者への支援】＜警察本部＞ ・ 24時間体制による相談対応を実施した（相談67件）。				
58			オ ひきこもりに関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d					【セ ひとり親家庭に対する支援】＜総合県民支援局＞ ・ 各保健福祉事務所に計7名の母子・父子自立支援員を配置し、相談内容に応じた情報提供や指導等を実施した。				
59			カ 依存症に関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d					【ソ 就労に関する相談】＜総合県民支援局＞ ・ やまなし・しごと・プラザにおいて、キャリアカウンセラーが就職に関する悩みや不安などの相談に対応した（1,974件）。				
60			キ がん患者等に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d					【タ 妊産婦のメンタルヘルス体制の強化】＜総合県民支援局＞ ・ 宿泊型産後ケア及び助産師による24時間電話相談を実施した（電話相談631件）。 ・ 産後うつ等を早期に発見し、産前産後ケアセンター等の活用につなげて産後うつ等の改善を図った（産前産後ウェルビーイングセンター相談件数約724件）。				
61			ク 中小企業金融相談員の配置	a	b	c	d	a	b	c	d					【チ 子育てに関する相談】＜教育委員会＞ ・ 子育て相談総合窓口が関係機関等と連携を図りながら、傾聴を中心とした相談を実施した（電話相談455件、面接相談7件、カウンセリング73件、合計535件）。				
62			ケ 自殺対策従事者への心のケア	a	b	c	d	a	b	c	d					【ツ 子どもの心のケア】＜総合県民支援局＞ ・ 子どものころサポートプラザにおいて、各施設のスタッフが緊密に連携しながら、相談から治療までニーズに応じた迅速かつ一貫した支援を実施した（連携推進会議4回、チーム会議5回）。				
63			コ 家族や知人等を含めた支援者への支援	a	b	c	d	a	b	c	d					【テ 児童虐待の防止】＜総合県民支援局＞ ・ 研修を実施し、児童相談所や市町村の体制強化及び専門性の向上に取り組んだ。 ・ 児童虐待防止推進月間において、児童虐待の通告義務や相談機関、子どもの権利に関する普及啓発を実施した。				
64			サ 大規模災害時における心のケア	a	b	c	d	a	b	c	d					【ト 社会的養護の下で育った子どもに対する支援】＜総合県民支援局＞ ・ 施設退所者に対する自立支援を実施した（支援計画作成23人、生活相談支援延べ3,454件、就労相談支援延べ494件、講習会5回、自助グループ活動18回）。				
65			シ 配偶者等からの暴力に関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d									
66			ス 性犯罪・性暴力被害者への支援	a	b	c	d	a	b	c	d									
67			セ ひとり親家庭に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d									
68			ソ 就労に関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d									
69			タ 妊産婦のメンタルヘルス体制の強化	a	b	c	d	a	b	c	d									
70			チ 子育てに関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d									
71			ツ 子どもの心のケア	a	b	c	d	a	b	c	d									
72			テ 児童虐待の防止	a	b	c	d	a	b	c	d									
73			ト 社会的養護の下で育った子どもに対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d									
74			ナ 労働相談員の配置	a	b	c	d	a	b	c	d									
75			ニ 農業従事者に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d									
76			ヌ 認知症に関する相談	a	b	c	d	a	b	c	d									
77			ネ 生活困窮者に対する相談	a	b	c	d	a	b	c	d									
78			ノ 新型コロナウイルス感染症への対応	a	b	c	d	a	b	c	d									
79		②見守り活動の強化	ア 民間企業等との連携	a	b	c	d	a	b	c	d	A	B	C	D					
80			イ 難病患者等に対する支援	a	b	c	d	a	b	c	d									
81			ウ 見守り体制等の構築	a	b	c	d	a	b	c	d									
82			エ ホームレス対策	a	b	c	d	a	b	c	d									

第3期山梨県自殺対策推進計画及び関連事業 取組状況一覧表

資料2

No	山 梨 県 自 殺 対 策 推 進 計 画			R 6項目評価	R 7項目評価	R 7 施策評価		R7実施状況	項 目 評 価	施 策 評 価		
	柱	施策	項目			項 目 評 価	施 策 評 価					
83	（ 5 ） 医 療 体 制 の 充 実	①医療提供体制の整備	ア 自殺防止に関する相談（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	【ウ 身体科と精神科の連携体制の構築】＜福祉保健部＞ ・精神科救急受診相談センターを運営し、精神科医療につなげる等、身体科と精神科の連携を図った（延べ相談件数1,517件）。 【カ 精神・身体合併症患者への医療提供】＜福祉保健部＞ ・精神科救急連絡調整委員会において、身体合併症患者医療体制整備について検討した。
84			イ 精神保健福祉に関する相談（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	
85			ウ 身体科と精神科の連携体制の構築	a	b	c	d	a	b	c	d	
86			エ 精神科救急医療体制の整備（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	
87			オ メディカルコントロール協議会との協働	a	b	c	d	a	b	c	d	
88			カ 精神・身体合併症患者への医療提供	a	b	c	d	a	b	c	d	
89			キ 依存症患者への医療提供	a	b	c	d	a	b	c	d	
90			②精神科医師等の確保	ア 医療従事者確保のための環境整備	a	b	c	d	a	b	c	
91		イ 認定看護師の確保		a	b	c	d	a	b	c	d	
92	（ 6 ） ス ク ー ル 対 策 強 化 ・ ハ イ リ ス ク 者 の 対 策 強 化 ・ ハ イ リ	①自殺多発地域における自殺対策の推進	ア 水際対策	a	b	c	d	a	b	c	d	【ア 水際対策】＜福祉保健部、警察本部＞ ・青木ヶ原樹海においてドローンを活用した夜間巡回パトロールを実施し、自殺企図者の早期発見・保護を図った。 ・青木ヶ原樹海及び八ヶ岳山麓周辺において警ら等を強化し、自殺企図者の保護を実施した。
93			イ イメージアップ	a	b	c	d	a	b	c	d	
94			ウ 地域における連携体制の強化	a	b	c	d	a	b	c	d	
95			エ 他の都道府県への周知	a	b	c	d	a	b	c	d	
96		②自殺発生回避のための体制の整備	ア 精神保健福祉に関する相談（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	【ウ サイバー空間における情報対策の強化】＜警察本部＞ ・認知したインターネットを介した自殺に関する情報に対し、発信源や自殺企図者の特定等の調査を実施し、自殺企図者の発見・保護等の対応を図った。 【ケ 自殺再企図の防止】＜福祉保健部＞ ・自殺未遂者の再企図防止を図るため、ライフコーディネーターの派遣及び再企図防止のための携帯型カードの配布を実施した。
97			イ 自殺者の親族に対する支援体制の充実	a	b	c	d	a	b	c	d	
98			ウ サイバー空間における情報対策の強化	a	b	c	d	a	b	c	d	
99			エ 依存症対策の強化（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	
100			オ 薬物乱用防止対策の強化（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	
101			カ 多重債務者に対する心の健康づくり（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	
102			キ 生活困窮者に対する支援（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	
103			ク ホームレス対策（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	
104			ケ 自殺再企図の防止	a	b	c	d	a	b	c	d	
105	（ 7 ） に 対 す る 支 援 者 等	①自殺未遂者等に対する支援	ア 研修の実施	a	b	c	d	a	b	c	d	【ア 研修の実施】＜福祉保健部＞ ・医療機関等を対象に、「二次救急医療機関自殺未遂者対応手順マニュアル」の活用方法や自殺未遂者への対応に関する研修会を開催し、対応力の向上を図った。 【イ 情報の共有】＜警察本部＞ ・インターネット上での自殺予告事案や他県居住者の自殺企図事案を認知した際、サイバー犯罪部門や他県警察等と連携し、迅速な手配等を実施した。
106			イ 情報の共有	a	b	c	d	a	b	c	d	
107			ウ 自殺再企図の防止（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	
108	に 対 す る 支 援 者 等	①自殺者の親族等に対する支援	ア 自殺者の親族に対する支援体制の充実（再掲）	a	b	c	d	a	b	c	d	【ア 自殺者の親族に対する支援体制の充実】＜福祉保健部＞ ・自死遺族等への支援体制の充実を図るため、相談対応職員を対象とした研修を実施した。

第3期山梨県自殺対策推進計画及び関連事業 取組状況一覧表

資料2

No	山 梨 県 自 殺 対 策 推 進 計 画			R 6項目評価	R 7項目評価				R 7 施策評価	R7実施状況	項 目 評 価 a：意図した成果を十分に上げている(120%以上) b：意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c：意図した成果は十分ではない(40%以上80%未満) d：意図した成果が上がらなかった(40%未満) 施 策 評 価 A：項目評価で a が30%以上、かつ c,d 無し B：項目評価で b 以上が60%以上、かつ d 無し C：項目評価で b 以上が60%以上だが d 有り D：項目評価で b 以上が60%未満
	柱	施策	項目								
109	*関連事業		○ 市町村が行うフリースクール利用料の支援への助成の拡充	－	a	b	c	d	A B C D	【市町村が行うフリースクール利用料の支援への助成の拡充】＜教育委員会＞ ・市町村が実施するフリースクール利用料支援事業に対する助成を実施した（10市町村で実施、うち4市町から8世帯分の申請）。	【身近な大人とのアタッチメント形成を支援】＜総合県民支援局＞ ・モデル市町村において保育の質の向上に向けた取組を実施するとともに、研修を実施し、アタッチメントに関する理解促進を図った。 【ケアラー支援の充実】＜総合県民支援局＞ ・ケアラーへの情報検索支援のため、生成AI機能を搭載したシステム改修を実施した（トップページ表示回数35,499回）。
110			○ 身近な大人とのアタッチメント形成を支援		a	b	c	d			
111			○ ケアラー支援の充実		a	b	c	d			
112			○ ケアラー支援推進員の養成		a	b	c	d			
113			○ 困難な問題に関する相談		a	b	c	d			
114			○ 困難な問題を抱える女性への支援		a	b	c	d			
115			○ 児童虐待に関する相談		a	b	c	d			
116			○ 青木ヶ原樹海の情報発信		a	b	c	d			
117			○ 青木ヶ原樹海の魅力再発見		a	b	c	d		【青木ヶ原樹海の魅力再発見】＜観光文化・スポーツ部＞ ・「樹海ミライカイギ」において、「自然×文化×食」をテーマとした体験コースを造成し、外国人やメディア等を対象としたプロモーションを実施した（参加者74名）。	

自殺未遂者の個別要因調査の結果

調査の概要

本県の自殺予防対策をさらに推進するため、山梨県立中央病院において令和2年から令和6年までに自損行為により搬送された患者延べ639人を対象として、自殺未遂者の実態把握に向けた患者属性及び自殺企図の背景等に関する詳細なデータ分析を実施。

研究課題名：「山梨県における自殺未遂者の実態調査」／研究代表機関：山梨県立中央病院精神科／共同研究機関：京都精華大学共通教育機構

主な調査結果

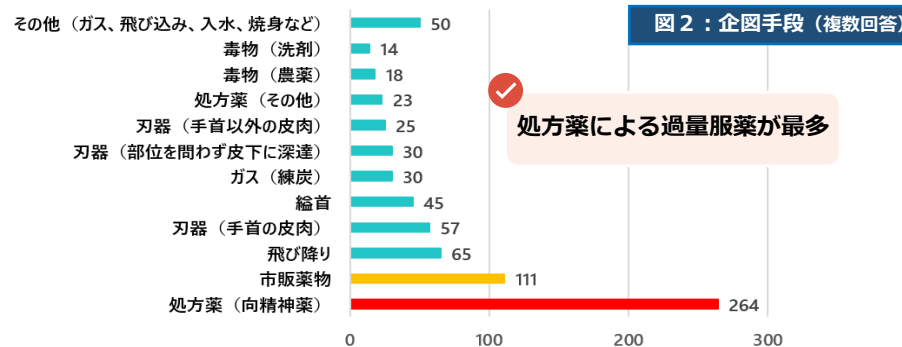
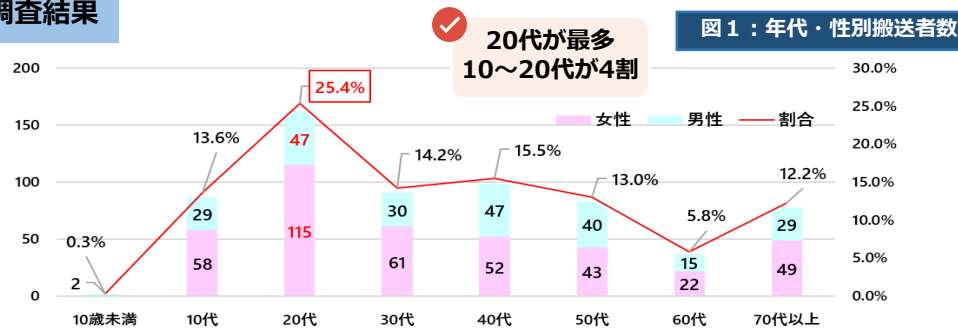
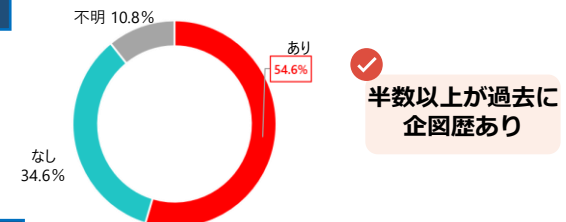
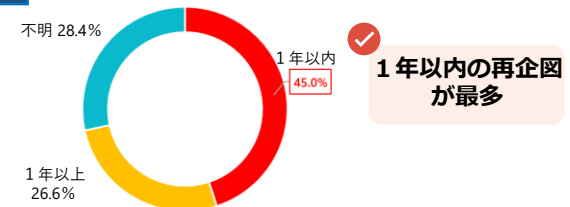


図3：過去の企図歴



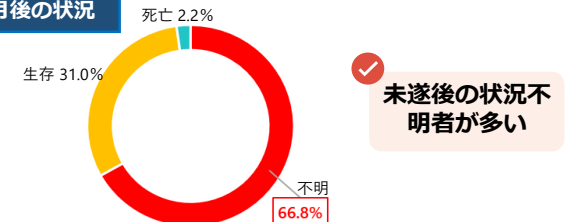
半数以上が過去に
企図歴あり

図4：過去の企図時期



1年以内の再企図
が最多

図5：搬送から6ヶ月後の状況



未遂後の状況不
明者が多い

本県の現状と課題

- 自殺未遂者の割合は20代が最も多く10～20代が全体の4割を占める。令和7年の全国における小中高生の自殺者数も過去最多を更新。こども・若者の自殺対策の強化が必要。
- 自殺企図の手段は過量服薬（オーバードーズ）が最多。R8年5月の薬機法*改正により、市販薬への過量服薬対策は進展している一方、処方薬については、精神科以外の診療科を含む過量服薬への予防対策が課題。
- 自殺未遂者の半数以上は企図歴があり、かつ未遂後1年以内の再企図リスクも高い。一方で、自殺未遂後の状況は66.8%が未把握。救急搬送された自殺未遂者への継続的な支援体制の構築が必要。

*医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

こども・若者の自殺対策の一層強化

① 関係機関相互の連携強化を図るための協議会を設置【総合県民支援局】

こどもの自殺に関する情報交換、課題の把握、支援体制の充実等について協議・検討する。

② 生成AIの対応に関する検討部会を設置【総合県民支援局】

生成AIなどのデジタル技術が、こどもの自殺リスクに与える影響を把握し、適切な予防・支援等を検討する。

③ 支援者支援のための多職種によるこども・若者の自殺危機対応チームを設置【福祉保健部】

自殺リスクの高いこども・若者に対する専門的知見に基づく迅速かつ適切な対応を促進し、地域における連携体制の構築を目指す。

過量服薬対策の強化

④ かかりつけ医・精神科医の連携強化、薬局における対応強化【福祉保健部】

自殺リスクの高い方を早期に把握し、適切な医療や支援につなげるため、かかりつけ医と精神科医による連携体制の充実を図る。また、調剤薬局での対応強化を進める。

未遂者支援の強化

⑤ 救急搬送された自殺未遂者の継続的な見守り支援体制の構築【福祉保健部】

救急病院に搬送された自殺未遂者について、継続的に必要な支援を受けられる体制を整備し、自殺再企図の防止を図る。

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す